

平成28年度大阪府立吹田東高等学校

第1回学校協議会

日時：平成28年6月21日（火）

場所：大阪府立吹田東高等学校 校長室

・委員	村田 正昭	吹田市立千里丘中学校 校長
	豊留 由美子	吹田市立東山田小学校 校長
	山崎 彰	武庫川女子大学健康・スポーツ科学部長
	城下 英行	関西大学社会安全学部准教授
	柏渕 眞理子	東山田青少年対策委員会委員長
	本岡 直樹	吹田東高等学校 PTA会長
校長	中田 裕省	吹田東高等学校 校長
事務局	田中 伸明	吹田東高等学校 教頭
	芝野 雅人	吹田東高等学校 事務長
	井川 紀代子	吹田東高等学校 首席
	村上 明弘	吹田東高等学校 首席
	久保 美治郎	吹田東高等学校 指導教諭

・学校協議会実施要項についての確認

会長選出 村田校長 職務代理者 豊留校長
保護者から学校への意見書の提出は0件であった。

・議 事

◆報告事項

(1) 平成27年度学校教育自己診断 追加報告 (資料②参照)

本校田中教頭より説明

- ・授業のわかりやすさとシラバスとの関連について、授業がわかると答えている生徒ほどシラバスが役立つと回答している。
- ・授業のわかりやすさと同様、授業の早さにおいても同様の関連の高さがみられる。
- ・授業の満足度について、授業の工夫でも同様の関連が見られる。
- ・部活動と学校の満足度についてはあまり関連がなかった。

委員：授業わからないという生徒がどこがわからないかなどの自由記述欄はあるか。
事務局：特筆するような内容はなく、それは授業アンケートの方になる。

(2) 進路状況について (資料③参照)

本校田中教頭より説明

- ・就職に関しては希望者100%実現している。
- ・今年度は関関同立の合格は全員現役生で、現役生の合格は年々増加している。
- ・産近甲龍についても現役生が多く、全体で現役生の合格が増えている。
- ・今年度の新入生の特徴として、国語の成績が高い生徒が入学し、英語は逆。
- ・2年生の状況は、1年の時より勉強に対する取り組みの差が出てきている。
- ・家庭学習の状況は英語はできているが、国語はあまりできていない。
- ・3年生の状況は例年よりは少し高く、進路実現に向けて今後取り組んでいく。

委員：平成28年度に浪人する生徒の数が減っているのはなぜか。
事務局：生徒が現役思考で、現役での志望校の合格率がこの年から上がっている。

(3) 新入生アンケート結果について (資料④参照)

本校井川首席より説明

- ・ホームページを見たことがあるというのは例年と同じ。
- ・7割の生徒は、一度は来校している。
- ・吹田東が第一希望の数が減っている。山田の倍率が高かったためそちらから変更してきているのでは。また、入試が1回になった影響があるのでは。
- ・私学の併願校は北摂近辺の学校が多い。
- ・受験する上で重視した理由は「成績」が多い。
- ・どのような学校と聞いていたかというのは「厳しい」が一番多い。
- ・厳しくてまじめでも本校を希望してくる生徒が多い。進学に力を入れているというのも多い。
- ・得意科目で国語が得意という生徒が例年より多く社会も多い。
- ・不得意科目は、数学と英語が多い。
- ・高校生活では学校行事や部活、友人関係に期待するが多い。

委員：第一希望に行けない生徒が受験形態の変化に不満を持って学校生活を送っている傾向はあるか。
事務局：あまり不満を持っているようには見えず、前向きに学校生活を送っているように見える。

委員：中学校としては、第二希望の学校に入学しても入ってしまえばその良さがわかり学校生活を送っているというような声を聞く。

(4) 平成29年度教科書選定 (資料⑤参照)

本校久保指導教諭より説明

- ・選定について、6月9日に委員会を発足した。
- ・委員のメンバーは別紙とおおり。
- ・校内締め切りが6月23日で、今月中に取りまとめて7月に点検をおこない、7月下旬に提出。

(5) 新校舎建設にむけて (資料⑥参照)

本校芝野事務長より説明

《計画概要書の説明》

- ・前の校舎より延べ面積は少し狭いが、一棟になったため設備は充実している。
- ・旧校舎の撤去が8月に終了し、新校舎の建設は来年度の秋以降(10月)に始まる。
- ・「好いたすまいる条例」の手続きを経て、設計・入札・建設に入っていく。

《校舎の概要について》

- ・普通教室は2階～4階の南側に一列にまとめた。
- ・暗くならないように吹き抜けや上部からの採光を取れるようにしている。

中田校長より補足

- ・新校舎は設計業者がレイアウトを考えている。
- ・校舎だけでなく校舎以外の駐輪場なども設計業者が入っている。
- ・プールに行きやすいようにするため通用門と横断歩道を新設してもらう。

委員：プールを敷地内に建設できなかったのか。

事務局：その話もあったが、できなかった。

委員：斜面を何かに活用できないか。

事務局：検討する。

(6) 平成27年度学校評価の報告と平成28年度の学校経営計画について (資料⑦参照)

本校中田校長より説明

《平成27年度学校評価について》

- ・シラバスについて保護者の認識が低い。
- ・S講座や補習・講習をしっかりとっている。
- ・学校教育自己診断の分析で、クロス集計を活用すれば問題の所在が明確になる。
- ・自己評価で、大きく成果が出たものを◎、まずまずを○、そこまで達していなかったものを△という分類をした。

} これらを補足した。

《平成28年度学校経営計画について》

- ・中期的目標の1、「学習指導要領等に基づき、授業形態の工夫やICT機器の効果的活用から、興味・関心が持てる授業、知識・技能が身についたと感じる授業をめざす。アクティブラーニング等の導入による生徒の授業への参加意欲の向上。」と昨年より表現を変えた
- ・指導と評価の年間計画(シラバス)を、年度最初の授業で教科担当から説明するということを徹底した。
- ・漢字検定は1年のみで、2年生は全国レベルの模試を全員受験するように変更した。
- ・個人情報等の適正な管理という点については、昨年度本校で事案が出たので対策をしっかりと取るため項目を増やした。
- ・「教科科目として、具体的な取組計画、評価指標、自己評価を作成する。ICTを活用した公開授業を、公開授業週間全教科で実施する。」という内容を具体的に挙げた。
- ・海外の高校との交流で、今年も夏に6名語学研修に行く。また、9月に中国から約30名の高校生の受け入れ交流をおこなう。
- ・個人情報管理表を別紙の通り作成をし、管理を徹底する。

委員：生徒が将来像を持ち、それに向かって何が大事か生徒自身が考えて提案していくようなことを「志(こころざし)学」の中で取り組んでほしい。

◆協議事項 『新校舎と今後の学校経営について』

本校中田校長より

- ・昨年度までは仮校舎でどのように学校生活を送っていくのかということを考え、1年経った。こちらに移ってから体育祭の準備で多くのクラスが学年競技の練習に取り組み、限られたスペースを利用し、そういったことが逆に取り組みやすい環境になったのではないかと感じる。
- ・新校舎が完成するにあたって、将来構想委員会で計画を練っていく。

委員：新校舎でのICT機器の設置予定はどうなっているのか。

事務局：今あるものを新校舎に設置、さらに充実させようと思う。

委員：今何があるのか。

事務局：各教室に電子黒板付きプロジェクター、書画カメラ、ノートパソコン、ケーブル、スクリーンとプロジェクターには無線アダプターがすべて付けている。

委員：特別教室はどうなっているか。

事務局：一部の特別教室には設置されている。

委員：(小学校)海外から帰って来た生徒がこちらの授業を見学したが、向こうでは全員がタブレットで交流し授業展開するということからリースクールに行った。

委員：自分の子供が10年前にアメリカにいたが、小学校低学年でノートパソコンを持ちプレゼンを盛んにおこなっていた。アメリカで学んだことをどうやったら日本で活用できるかを葛藤していた。もうすぐタブレットやスマホの時代が終わる。

委員：時代がどんどん変化しているが、理解できていない人が多い。学校教育では自分で選択していく。フリースクールではなく現地校でその違いを学び文化の交流に役立てればよかったのでは。

委員：新校舎の多目的室の活用はどうか。

事務局：一つは普通授業で使用する大きさになっている。もう一つ（志ルーム）は、2クラス入る大きさを、グループ学習やプレゼンに使えるようにしている。視聴覚教室は4クラス入れるようにしている。

委員：挨拶をさせるということではどのような取り組みをおこなっているか。

最近、吹田東高校生が挨拶をしても返してくれなかったり、学校に入って来ても挨拶しない生徒が多いように感じた。

事務局：時折、挨拶が重要だという話はしている。毎日下足室で教員が立って指導はしているが、徹底できていない分は改善していく。

委員：学校の近くは自転車のマナーはよいが、少し離れると他の学校もそうであるが吹田東高校生もマナーがよくない。見えないところでもきちりやってほしい。

地域では勉強や服装・態度の面で以前よりよくなったという評価をうけているが、だからこそ目立つところがあるのでは。だから挨拶もきちりやってもらいたい。

委員：挨拶することは不審者対策にもなる。

◆事務連絡

次回 11月22日（火） 〈予定〉